

# Proxyパターン

Seeeeee:D

楊明哲

# Proxyパターンって

もう一人の自分欲しいときあるよね？

- Proxyは「代理人」って意味.
- 自分が忙しくて、代わりにやって欲しいときとか代理人にやってもらう

# Proxyパターンって？

コピーはオリジナルを超えられない…

- 基本的な作業は代理人でもできる！
- けど、時々代理人にはできないこともあるよね？
- その時は本人に作業を行ってもらう必要がある！

サンプルケース

# サンプルケース～教育実習

## 登場人物の紹介



藤原先生

教育実習にやってきた先生.  
そんなに優秀ではないけど  
やる気はある.



山田先生

昔のような熱意は無  
くなってしまった.  
優秀だけど授業はし  
たくない.



生徒A

やたら  
質問してくる.

# サンプルケース～教育実習

## 第一話: はじめまして, 藤原です



藤原先生



山田先生

山田先生	:	皆さん、おはようございます。今日の授業は、藤原先生にお願いすることになりました。まずは、自己紹介をどうぞ。
藤原先生	:	こんにちは、藤原です。私は15年前にこの学校を卒業しました。当時とあまり変わっていないくて、懐かしいです。今日は1日、よろしくお願いします。
生徒	:	よろしくお願いします。
山田先生	:	それでは、授業を始めましょう。みなさん、みなさん、いつもどおり授業を受けましょうね。
生徒	:	はい。
藤原先生	:	では、始めたいと思います。教科書の25ページを開いてください。



生徒A



# サンプルケース～教育実習

## 第二話: 生徒A, 質問をする



		キーンコーンカーンコーン♪
藤原先生	:	・・・というわけで3時間目の授業は以上です。みなさん、わかりましたか？
美保さん	:	先生、「問題1」がわかりません。
藤原先生	:	それは「～～解答1～～」です。
一郎くん	:	「問題2」ってどういうことですか？
藤原先生	:	それは「～～解答2～～」です。



# サンプルケース～教育実習

## 第三話: 藤原, ピンチになる



藤原先生



山田先生

隆くん	:	じゃあ、「問題3」はどうすればいいですか？
藤原先生	:	(うっ、どう答えればいいんだろう・・・)えー、それについては次の時間にお話しますね。



生徒A



# サンプルケース～教育実習

## 第四話: 山田, 救世主になる



藤原先生



山田先生

藤原先生	:	「問題3」についてなんですが、どう答えればよいでしょうか？
山田先生	:	それなら「～～解答3～～」と説明してあげればよいでしょう。
藤原先生	:	なるほど、わかりました。

休み時間も終わり、再び授業再開です。

藤原先生	:	先ほどの質問3についてですが、答えは「～～解答3～～」となります。
隆くん	:	はい、わかりました。ありがとうございます。
藤原先生	:	(ほっ・・・)それでは、次の授業を始めますね。・・・



生徒A

# まとめ

## 忙しい時は他人を頼ろう

- Proxyパターンは、本体の代わりとなる代理人を立てるパターン
- 代理人ができないことは本人に処理を任せるが、それ以外は代理人が行う。
- 目的としては処理を分散して行うことができる。オブジェクトの負荷を分散することができる。
- Decoratorパターンに似ているが、Decoratorの目的は、新しい機能を追加するための工夫であるところが違う。

# 感想

- 今回の例だと継承，オーバーライドと違いがあまりわからなかった．何が違いがある？
- Rustたのしい．Rustはいいぞ！